

パフォーマンスステータス：PS

- 0：全く問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。
 1：肉体的に激しい運動は制限されるが、歩行可能で軽作業や座っての作業は行うことができる。例) 軽い家事・事務作業
 2：歩行可能で自分の身の回りのことは全て可能だが、作業はできない。一中の50%以上はベッド外で過ごす。
 3：限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
 4：全く動けない。自分の身の回りの事は全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

日常生活自立度

J：自立 A：屋内自立 B：屋内要介助、車いす C：全介助、寝たきり

PPS

	起居	活動と症状	ADL	経口摂取	意識レベル
100	100%起居している	正常の活動・仕事が可能 症状なし	自立	正常	清明
90		何らかの症状はあるが 正常の活動が可能			
80		明らかな症状があり 通常の仕事や業務が困難			
70	ほとんど起居している	明らかな症状があり 趣味や家事を行うことが困難	ときに介助	正常 もしくは 減少	清明 もしくは 混乱
60		明らかな症状があり どんな仕事もすることが困難	しばしば介助		
50	ほとんど座位もしくは臥床	著明な症状があり どんな仕事もすることが困難	ほとんど介助	数口以下 マウスケアのみ	清明 もしくは 傾眠士混乱
40	ほとんど臥床	著明な症状があり 殆どの行動が制限される	ほとんど介助		
30	常に臥床	著明な症状があり いかなる活動も行うことができない	全介助		
20					
10					

PPI 6点以上で3週間以内に死亡する確率が高い。感度80%、特異度85%

Palliative Performance Scale	10-20	4.0
	30-50	2.5
	≥ 60	0
経口摂取 (IVHは[正常])	著明に減少(数口以下)	2.5
	中程度減少	1.0
	正常	0
浮腫	あり	1.0
安静時の呼吸困難	あり	3.5
せん妄	あり(薬剤性と非臓器障害を除く)	4.0

症状STAS(0~4で評価)

苦痛:総合評価	
倦怠感	
呼吸困難感	
咳嗽	
食欲不振	
吐気	
掻痒感	

症状STAS

- 0:なし
 1:時折、断続的。患者は今以上の治療を必要としない。(現在の治療に満足している、介入不要)
 2:中等度。時に悪い日もあり日常生活動作に支障をきたすことがある。(薬の調節や何らかの処置が必要だがひどい症状ではない)
 3:しばしばひどい症状があり、日常生活動作や集中力に著しく支障をきたす。(重度、しばしば)
 4:ひどい症状が持続的にある。(重度、持続的)
 *:評価不能